

「対面」と「オンライン」による

# 教育実践研究発表会

1年次院生は1年間の年次報告、2年次院生は2年間の最終報告を行います。

**日 時** 令和8年 2月16日（月）9:30～16:45

**会 場** 弘前大学創立 50周年記念会館及びオンライン会場

**日 程**

1 受付	9:15～9:30	弘前大学創立50周年記念会館入口 ※オンライン参加者は、この時間帯に【第1会場】にお入りください。
2 開会行事	9:30～9:45	【第1会場】1階みちのくホール (1) 高瀬 雅弘 本教育学研究科長 挨拶 (2) 風張 知子 青森県教育委員会教育長 御挨拶
3 1年次院生年次報告会	9:55～12:07	【第1会場】1階みちのくホール 【第2会場】2階岩木ホール 【第3会場】1階会議室1 【第4会場】2階会議室2
4 昼食・休憩	12:07～12:55	
5 2年次院生最終報告会	12:55～16:19	【第1会場】1階みちのくホール 【第2会場】2階岩木ホール 【第3会場】1階会議室1 【第4会場】2階会議室2
6 閉会行事	16:20～16:45	【第1会場】1階みちのくホール (1) 謝辞 八木橋 奈緒 2年次院生(学校教育実践・教科領域実践コース)代表 長嶺 海 2年次院生(ミドルリーダー養成コース)代表 (2) 挨拶 中野 博之 弘前大学教職大学院専攻長

参加  
無料

## ◆発表者・発表順一覧(午前の部)◆

### ■1年次院生 学校教育実践コース・教科領域実践コース研究報告

順	時間	場所	【第1会場】1階みちのくホール	【第2会場】2階岩木ホール
1	9:55～10:10	武田 遼(高地歴)	村山 梨玖(小)	
2	10:13～10:28	福岡 寛丈(中理)	渡辺 結衣(小養)	
3	10:31～10:46	有働 将之(高数)	羽場 匠洋(中数)	
	10:46～10:56	休憩	休憩	
4	10:56～11:11	相馬 龍乃介(高倫)	松田 恋紗(小)	
5	11:14～11:29	小山内 緋流(高国)	遠藤 佳子(中養)	
6	11:32～11:47	斎藤 広和(高英)	5人終了時点で講評をいただく	
講評	11:47～12:07	教職大学院 教員 田澤 和康	弘前市立文京小学校 校長 佐藤 一晃	

### ■1年次院生 ミドルリーダー養成コース研究報告

順	時間	場所	【第3会場】1階会議室1	【第4会場】2階会議室2
1	9:55～10:10	佐々木 洋子(小)	篠原 英樹(中体)	
2	10:13～10:28	三國 里美(高国)	櫻庭 レミ(中数)	
3	10:31～10:46	福田 正道(特中)	葛西 健介(中英)	
	10:46～10:56	休憩	休憩	
4	10:56～11:11	工藤 愛美(小)	横濱 知愛(中養)	
5	11:14～11:29	松浦 里美(特小)	4人終了時点で講評をいただく	
講評	11:29～11:49	教職大学院 教員 長尾 悠里	青森市立佃中学校 校長 黒丸 健吾	

## ◆発表者・発表順一覧(午後の部)◆

### ■2年次院生 学校教育実践コース・教科領域実践コース研究報告

順	時間	場所	【第1会場】1階みちのくホール	【第2会場】2階岩木ホール
1	12:55～13:22	佐藤 譲(小)	佐藤 恒太(高地歴)	
2	13:25～13:52	八木橋 奈緒(小)	高塚 夏海(高国)	
3	13:55～14:22	山上 昭恩(小)	三上 紘輝(中理)	
	14:22～14:32	休憩	休憩	
4	14:32～14:59	佐藤 希泉(小)	加藤 広之(高商)	
5	15:02～15:29	久保 光彰(中数)	前田 凌玖(中英)	
6	15:32～15:59	熊谷 翼(中社)	山谷 峻右(中理)	
講評	15:59～16:19	教職大学院 教員 村元 治	弘前実業高等学校 校長 中川 伸吾	

### ■2年次院生 ミドルリーダー養成コース研究報告

順	時間	場所	【第3会場】1階会議室1	【第4会場】2階会議室2
1	12:55～13:22	細田 瑛介(高社)	三戸 大志(中英)	
2	13:25～13:52	長嶺 海(高国)	浅利 美穂(小)	
3	13:55～14:22	横濱 和也(小)	遠藤 彩華(小)	
	14:22～14:32	休憩	休憩	
4	14:32～14:59	山内 千秋(小)	高坂 洋輔(特支)	
講評	14:49～15:19	教職大学院 教員 吉田 美穂	青森第二高等養護学校 校長 佐藤 忠全	

## ◆研究テーマ一覧◆

### ■ 1年次院生 学校教育実践コース・教科領域実践コース

- 遠藤 佳子 保健室来室時間診票を活用した生徒の自己理解の深化－意識化と言語化に着目して－
- 斎藤 広和 生徒の「話すこと（発表）」の質的向上を目指す授業実践－「英語コミュニケーション」での主体的・対話的で深い学びの実現－
- 松田 恵紗 交流及び共同学習の充実に向けた一考察－図画工作科における対話から見通しをたてる場面の創出－
- 村山 梨久 自己効力感を高める教師の効果的な働きかけ
- 渡辺 結衣 当事者意識を持たせられる外傷予防教育について－頭部外傷の罹患性と重大性に着目して－
- 有働 将之 高等学校数学科における全ての生徒の「参加」「理解」「習得・活用」を目指した授業づくり－焦点化に着目して－
- 小山内緋流 高等学校国語科における文学の解釈を深めるための授業づくり
- 相馬龍乃介 高等学校倫理（公共）における対話を通して思考力を育成する授業開発
- 武田 遼 生徒が歴史を現在と関連させて捉えることができる歴史授業づくりについて
- 羽場 匠洋 自己評価と他者評価を組み合わせた相互評価を通じた生徒の意識の変容について－中学校数学科に関する一考察－
- 福岡 寛丈 中学校理科授業における学習行動の影響について－授業UDと興味に注目して－

### ■ 1年次院生 ミドルリーダー養成コース

- 葛西 健介 教育内容・教材のレリバンスがある授業づくりに関する考察－中学校英語の授業に着目して－
- 工藤 愛美 子どもを「見取る」力の向上を通した教師の「学び合い」コミュニティの構築に関する実践研究－特別活動における協働的な学びを通して－
- 櫻庭 レミ キャリア・パスポートを活用した対話的振り返り活動による自己形成への支援－「自分事」として捉えるポートフォリオの工夫と実践－
- 佐々木洋子 心理的安全性の高い学級づくり－SELと授業改善の二本柱－
- 篠原 英樹 多様な話し合い活動を通した学級における自治的集団の形成－ショートクラス会議を軸とした実践－
- 福田 正道 他校の高等部生徒との交流学習とおした小・中学部児童生徒のキャリア教育の推進－「思いの変化」や「内面の変化」に着目した交流について－
- 松浦 里美 特別支援学校における教員の事例的知識の外化と共有を通した力量形成に関する一考察－ループリックの作成・活用を通して－
- 三國 里美 定時制高校における円滑な職業への移行を支援する体制づくり
- 横濱 知愛 生徒の主体性を育む学校保健のマネジメント－ミドルリーダーである養護教諭のアプローチとして－

### ■ 2年次院生 学校教育実践コース・教科領域実践コース

- 加藤 広之 現実社会の中で知識と実践が融合する当事者意識を育てるために－高等学校商業科目に関する一考察－
- 佐藤 希泉 算数科における自己効力感を高めるための一考察
- 佐藤 恒太 高等学校における主体的に学習に取り組む態度を育成する地理教育－振り返り場面における「問い合わせ」に着目した授業実践－
- 八木橋奈緒 一人一人が意欲をもち参加できる歌唱指導のありかた
- 山上 昭恩 音楽の療法的効果を用いた教育的アプローチ－「ハートタイム」の実践を通して－
- 高塚 夏海 古典を自分ごととして学ぶことのできる授業のありかた
- 熊谷 翼 実習記録の省察から明らかにする教師としての自己効力感の向上－教職大学院生のセルフスタディ－
- 佐藤 譲 小学校社会科における主体的な学習者を育成する授業検討－自己調整学習の視点を取り入れた授業づくり－
- 三上 紘輝 中学校の理科授業におけるジョンソンらの協同学習が生徒に及ぼす影響について－自己効力感に焦点を当てて－
- 久保 光彰 中学校数学科における全ての生徒の「参加」「理解」「習得・活用」を目指した授業づくり－自力解決と振り返りを重視して－
- 前田 凌玖 自律した学習者の育成を目指した授業づくり－自己調整学習の観点から－
- 山谷 峻右 中学校理科における学習意欲を高める方策の検討－期待と価値に着目して－

### ■ 2年次院生 ミドルリーダー養成コース

- 高坂 洋輔 生徒の経験を違いを活かしたキャリア発達を促す授業づくりに向けた教師の「見取る力」の向上を図るための研修
- 三戸 大志 中学校外国語科における個別最適な学びを実現する授業設計の検討－方法を飼いならし、教科する授業づくりに向けたAI（愛）のある実践を通して－
- 山内 千秋 心理的安全性を高めるための学級集団づくり
- 細田 瑛介 定時制高校における自己の課題と向き合う「総合的な探究の時間」－「対話」と「意識化」に着目して－
- 浅利 美穂 小学校特別支援学級におけるポジティブ行動支援の取組を通じて、児童の行動と意識の変容に関する実践的研究
- 遠藤 彩華 学校・家庭・地域が一体となって子どもの育ちを見守る体制づくり－子どもにとって安心安全な居場所となる学校づくりの取り組み－
- 長嶺 海 学びの価値を実感する生徒を育む授業の在り方－高等学校における国語科と総合的な探究の時間の実践から－
- 横濱 和也 自律的・継続的な校内研究のあり方－実践の省察と共有を通じた教師の学びの創出－

## ◆ 参加申込みについて ◆

- 本発表会は、「対面方式」と「Zoomによるオンライン」を併用して開催いたします。
- お申込み時に、「対面」「オンライン」「未定」から選んでいただきます。
- お申込みをいただいた全ての皆様に、当日の会場の URL をお送りいたします(2月上旬)。
  - ※ 感染症の拡大等により、対面開催ができなくなった場合、ご活用ください。  
なお、開催方法に変更が生じた場合は教職大学院 HP でお知らせするとともに、  
お申込みいただいた皆様には、個別にメールにて連絡いたします。
- 対面参加に限り、当日の受付も可能です。直接会場にお越しください。

## ◆ 参加申込み方法 ◆

右記 QR コード、又は下記 URL からお申込みください。

- 教育実践研究発表会申込フォーム URL

<https://forms.office.com/r/zJfrpfn2qk>

※ 教職大学院ホームページからもお申込みいただけます。

- 弘前大学教職大学院ホームページ URL

<https://www.edu.hirosaki-u.ac.jp/gs/pdotteachers.html>

※ トップページ左下の「教育実践研究発表会」から「申込みフォーム」へお進みください。

令和7年度 弘前大学教職大学院  
教育実践研究発表会 申込フォーム



## ◆ 申込み期間 ◆

令和7年12月17日（水）～令和8年2月4日（水）

## ◆ その他 ◆

- 駐車場が限られています。ご来場の際は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- 当日の資料は紙媒体では配布いたしません。
  - ・ お申込みをいただいた皆様には、後日、報告書等のダウンロード用 URL をお送りいたします。必要に応じてダウンロード、またはプリントアウトして、ご活用ください。
- オンライン会場にてご参加の皆様へのお願い
  - ① 当日は、開会行事後、ブレイクアウトルームにて会場を選択してご入場ください。
  - ② 同じ室内で複数の PC から参加されると、ハウリングを起こす場合がありますので、ご注意ください。
  - ③ オンライン会場の様子は、記録のため録画させていただきますことをご了承ください。

### 弘前大学構内図



### ACCESS

- JR 弘前駅からのアクセス
- ・ 歩道約 20 分
  - ・ バス約 10 分  
駅前3番のりば乗車  
「弘前大学前」下車
  - ・ タクシー約 5 分